

# 令和元年度全国学力・学習状況調査結果【小学校】について

境港市教育委員会事務局

本年4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果を分析し、全国・県の結果と合わせまして本市の状況をお知らせします。

ただし、本調査により測定できる学力は一部であり、総合的な学力を表すものではありません。学習状況調査を含めた分析の結果が、子どもたちのよりよい学びをめざす指針になればと考えております。

なお、本年度より、「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施しております。



## 教科の調査から ~国語・算数~

### 国語

【評価について】 A：全国平均との差が+3%を超える B：全国平均と同等から+3%まで  
C：全国平均との差が-3%まで D：全国平均との差が-3%を下回る  
※ 表およびグラフの数値は、すべて「平均正答率（%）」を表しています。

|                      | 境港市  | 県    | 全国   | R1全国差 | R1評価 | 国語A    |       | 国語B    |       |
|----------------------|------|------|------|-------|------|--------|-------|--------|-------|
|                      |      |      |      |       |      | H30全国差 | H30評価 | H30全国差 | H30評価 |
| 全体                   | 61   | 63   | 63.8 | -2.8  | C    | -0.8   | C     | -5.5   | D     |
| 話すこと・聞くこと            | 70.9 | 71.9 | 72.3 | -1.4  | C    | -5.5   | D     | -3.0   | C     |
| 書くこと                 | 54.9 | 55.5 | 54.5 | 0.4   | B    | -1.3   | C     | -6.3   | D     |
| 読むこと                 | 79.1 | 80.8 | 81.7 | -2.6  | C    | -0.7   | C     | -6.7   | D     |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 47.7 | 52.1 | 53.5 | -5.8  | D    | 0.0    | B     |        |       |

### 国語【課題となる内容と成果】

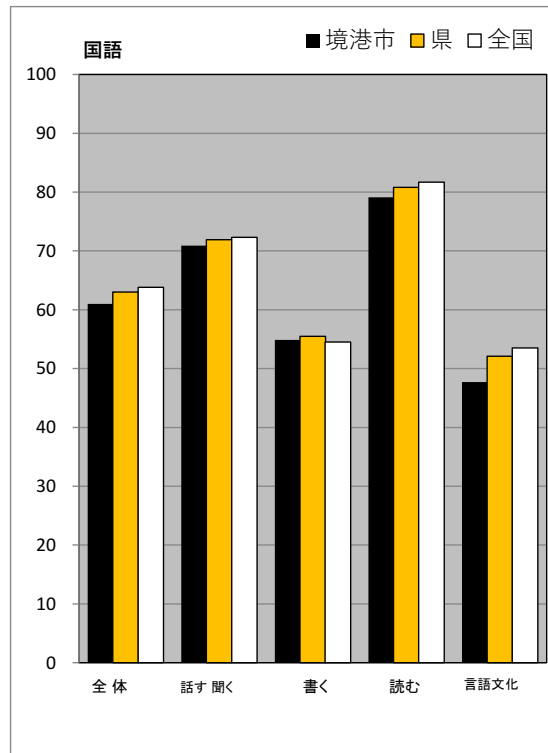
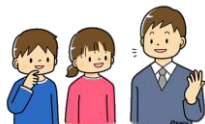
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国平均を下回る結果となっています。特に、同音異義語に注意して、漢字を文中で正しく使うこと（全国比-15.6%）や文と文のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと（全国比-8.6%）に課題が見られました。新出漢字を繰り返し練習するだけでなく、書いた文章を見直す学習等の中で、文脈に沿った正しい使い方を身に付けることが大切です。
- ・「読むこと」については、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと（全国比-6.3%）に課題が見られました。
- ・「話すこと・聞くこと」については、目的に応じて、質問を工夫すること（全国比-3.8%）に課題が見られました。



前年度、課題が見られた「書くこと」については、全国平均を上回り、改善傾向が見られます。特に、「図表やグラフなどを用いた目的」や「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫」を捉えることができるか見る設問で良好な結果が見られました。

### 【児童質問紙とのクロス集計より】

- ・「読書が好きですか」「新聞を読んでいますか」という質問に肯定的に回答している児童の平均正答率が高くなっています。



# 算数

|      | 境港市  | 県    | 全国   | R1全国差 | R1評価 | 算数A    |       | 算数B    |       |
|------|------|------|------|-------|------|--------|-------|--------|-------|
|      |      |      |      |       |      | H30全国差 | H30評価 | H30全国差 | H30評価 |
| 全体   | 64   | 66   | 66.6 | -2.6  | C    | -5.5   | D     | -2.6   | C     |
| 数と計算 | 59.6 | 62.8 | 63.2 | -3.6  | D    | -8.7   | D     | -2.6   | C     |
| 量と測定 | 51.6 | 51.1 | 52.9 | -1.3  | C    | 0.0    | B     | -6.5   | D     |
| 図形   | 77.4 | 77.7 | 76.7 | 0.7   | B    | -8.3   | D     | 1.3    | B     |
| 数量関係 | 64.5 | 67.3 | 68.3 | -3.8  | D    | -8.9   | D     | -2.1   | C     |

## 算数【課題となる内容と成果】

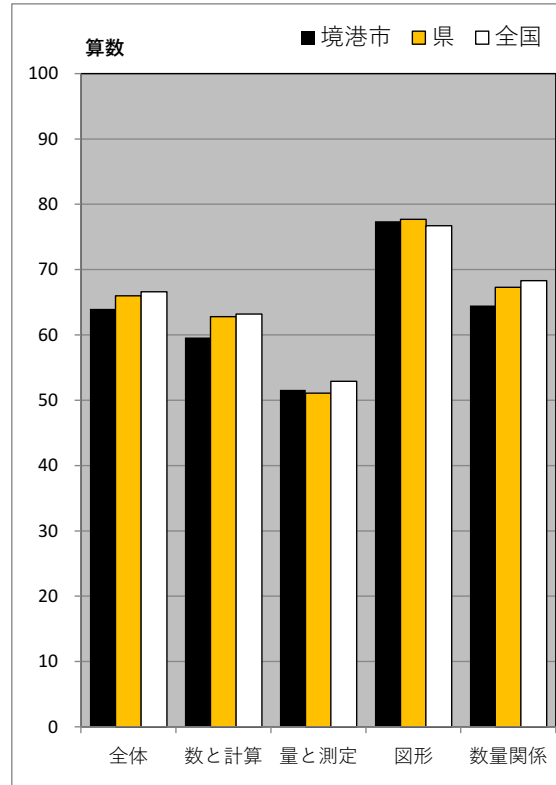
- 「図形」の領域においては全国平均を上回っています。「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域では、全国平均を下回る結果となっています。
- 「数と計算」「数量関係」については、資料の特徴や傾向を読み取り、数量の大きさの関係を読み取ること  
 (全国比-5.8%)に課題が見られました。  
 また、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに課題が見られました。(全国比-6.5%)
- 「数と計算」については、示された計算の仕方をもとに、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題が見られました。(全国比-8.3%)



「数と計算」では、継続的に除法の計算の仕方や示された除法の式の意味の理解について課題が見られます。わられる数とわる数に同じ数をかけても(同じ数でわっても)商は変わらないことや必要に応じて式が何を表しているのかを振り返ることが大切です。

### 【児童質問紙とのクロス集計より】

- 「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切だと思いますか」という質問に肯定的に回答している児童の割合が全国を上回っており、平均正答率も高くなっています。





【本市で十分に満足いく結果のもの】（90%以上が肯定的な回答）

- ◎朝食を毎日食べている （94.8%）
- ◎毎日、同じくらいの時刻に起きている （92.8%）
- ◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う （90.8%）
- ◎先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う （94.4%）
- ◎ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある （96.8%）
- ◎学校のきまりを守っている （94.8%）
- ◎人が困っているときは、進んで助けている （91.6%）
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う （98.4%）
- ◎人の役に立つ人間になりたいと思う （97.2%）
- ◎国語の勉強は大切だと思う （94.8%）
- ◎国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う （94.0%）
- ◎算数の勉強は大切だと思う （94.8%）
- ◎算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う （94.8%）



【全国より上回っている『満足いく』結果のもの（肯定的な回答の全国比較）】

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている 88.0%（全国比+6.6%）
- 自分には、よいところがあると思う 88.8%（全国比+7.6%）
- 読書が好き 81.2%（+6.2%）
- 今住んでいる地域の行事に参加している 80.4%（+12.4%）
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある 59.6%（全国比+5.1%）
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う 76.4%（全国比+7.8%）
- 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う 84.8%（全国比+8.7%）
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う 83.2%（全国比+9.1%）
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う 70.8%（全国比+5.1%）
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う 80.0%（全国比+6.0%）
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う 81.2%（全国比+7.8%）
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える 81.2%（全国比+7.8%）



【全国より下回る等、課題がある結果のもの】

- △5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか（ほぼ毎日、または、週1回以上） 17.2%（全国比-10.3%）
- △学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）（2時間以上） 18.8%（全国比-10.5%）
- △解答時間は十分でしたか（国語）（時間が余った、ちょうどよかった） 66.4%（全国比-7.8%）

## 成果

- 「毎日、同じくらいの時間に寝ている」、「毎日、同じくらいの時間に起きている」での肯定的な回答が全国平均を上回っています。これは、学校・家庭が継続的に連携して取り組んでいる成果と考えます。今後も、「早寝、早起き、朝ごはん」等の基本的な生活習慣にかかわる活動をさらに推進していく必要があります。
- 「自分には、良いところがある」、「国語の勉強が好き」、「算数の勉強が好き」と肯定的に回答する児童の割合が全国と比較して高いです。また、「自分のよいところを認めてくれる」、「間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる」と肯定的に回答する児童の割合が高いです。このような状況から、児童の自己肯定感の高さが伺えます。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」と肯定的に回答する児童の割合が全国と比較して高いことから、多くの児童が地域とかかわりを持ち生活していることが伺えます。また、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と肯定的に回答する児童の割合が全国と比較して高いです。今後、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の取組を推進し、地域を題材とした体験的な学習等をさらに充実させることが必要です。
- 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」と肯定的に回答する児童の割合が多いことから、外国語の学習に関する意識の高さが伺えます。たくさんの外国の方々が訪れる境港市の利点を生かして、境港や外国のそれぞれの良さを受け入れる児童の国際感覚をさらに磨いていくことが必要です。
- 「学校のきまりを守っている」、ともに「人が困っているときは、進んで助けている」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」で、90%以上が肯定的な回答をしており、規範意識や相手を思う意識の高さが伺えます。

## 課題

- △「ICTを活用した授業を週1回以上行っている」と回答している児童の割合が全国と比較して低いです。ICTを活用し、効果的にICTを学習に取り入れていく必要があります。新学習指導要領では、プログラミング教育が始まります。児童のプログラミング的思考を育成する取組を充実させていく必要があります。
- △普段の家庭学習の時間を見ると、1時間以上学習に取り組んでいる児童の割合は全国と同等ですが、2時間以上取り組んでいる児童の割合は低いです。学校で学んだことを家庭学習で復習して定着につなげたり、疑問に思ったことを調べたりする等、家庭学習を充実させる必要があります。